

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況  
 ○長崎県北部海区漁業調整委員会

番号	区分	氏名	年齢	性別	職業	推薦を受けた者又は応募した者		推薦した者又は団体					推薦又は応募理由		
						経歴		漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業		年齢	性別
						就業歴	主な漁業種類	就業歴	主な漁業種類						
1	漁業者	安永 光幸	63	男	漁業 (漁協長)	昭和46年4月～昭和47年3月 波方海員学校 昭和47年4月～昭和57年2月 海運業に従事(船舶に乗船) 昭和57年3月～ 漁業に従事 平成21年6月～ 石田町漁業協同組合理事就任 平成24年6月～ 石田町漁業協同組合代表理事組合長に就任 平成28年8月～ 長崎県北部海区漁業調整委員会委員	38年	一本釣り漁業 小型定置漁業 藻類養殖業	石田町漁業協同組合	安永 光幸	—	—	—	被推薦者は漁業の知識と経験を活かし理事として漁協運営に携わり、平成24年6月から代表理事として漁協のトップに立ち漁業経営、漁協運営の安定化の為に職務を遂行している。 自身の漁業経営については、資源管理、繁殖保護を率先しながら長男と漁業に従事後継者の育成や新たに海藻養殖を導入し所得の向上を目指している意欲ある漁業者である。 又、海区漁業調整委員を歴任しており委員としての識見を有しているため推薦するものです。	
2	学経	中山 等	64	男	団体職員 (漁協長)	昭和50年3月 長崎県立杵岐高等学校卒業 昭和50年4月 杵岐地区海運組合に就職 昭和54年1月 杵岐地区海運組合を退職 昭和54年4月 郷ノ浦町漁業協同組合に就職 平成29年6月 郷ノ浦町漁業協同組合を退職 平成29年7月 郷ノ浦町漁業協同組合の代表理事組合長に就任 平成30年6月 長崎県漁業共済組合理事就任	—	—	郷ノ浦町漁業協同組合	中山 等	—	—	—	昭和54年に郷ノ浦町漁業協同組合へ入組して以来、39年間奉職。平成15年11月に郷ノ浦町漁協の参事に就任され、14年間、重責を担いながら、積極的に組合事業の進展を図り、漁家経営の発展に努められるなど、郷ノ浦町漁協の業務向上に一段の努力をされました。 また、杵岐地区漁協専務参事会でも平成19年から平成22年まで会長、平成19年から平成22年に長崎県漁協専務参事会の役員に歴任し、長きに渡り県内海員組織全体の融和を図りながら、漁業振興、漁協運営の発展に努められるなど、地区組織はもとより長崎県漁協専務参事会に多大な貢献をされました。 現在は、郷ノ浦町漁協の代表理事組合長、さらに長崎県漁業共済組合理事として、これまで培ってきた漁協経営のノウハウを生かして、組合員や職員の指導にあたりながら日々、漁協経営に努められているためご推薦致します。	
3	漁業者	安永 光幸	63	男	漁業 (漁協長)	昭和46年4月～昭和47年3月 波方海員学校 昭和47年4月～昭和57年2月 海運業に従事(船舶に乗船) 昭和57年3月～ 漁業に従事 平成21年6月～ 石田町漁業協同組合理事就任 平成24年6月～ 石田町漁業協同組合代表理事組合長に就任 平成28年8月～ 長崎県北部海区漁業調整委員会委員	38年	一本釣り漁業 小型定置漁業 藻類養殖業	杵岐市漁業協同組合長会	大久保 照享	—	—	—	被推薦者は漁業の知識と経験を活かし、石田町漁業協同組合の代表理事として、漁協のトップに立ち漁業経営、漁協運営の安定化の為に職務を遂行している。 資源管理、繁殖保護等に力を入れ、また、磯焼け対策のため海藻養殖を導入するなど漁協のトップとして力を発揮している。 さらに、海区漁業調整委員を歴任しており委員としての識見を有している。	
4	学経	中山 等	64	男	団体職員 (漁協長)	昭和50年3月 長崎県立杵岐高等学校卒業 昭和50年4月 杵岐地区海運組合に就職 昭和54年1月 杵岐地区海運組合を退職 昭和54年4月 郷ノ浦町漁業協同組合に就職 平成29年6月 郷ノ浦町漁業協同組合を退職 平成29年7月 郷ノ浦町漁業協同組合の代表理事組合長に就任 平成30年6月 長崎県漁業共済組合理事就任	—	—	杵岐市漁業協同組合長会	大久保 照享	—	—	—	昭和54年から郷ノ浦町漁業協同組合へ入組し、平成15年11月に参事に就任され、漁業振興、漁家経営の発展に貢献されている。また、平成19年から平成22年に長崎県漁協専務参事会の役員に歴任し、長きに渡り県内海員組織全体の融和を図りながら、漁業振興、漁協運営の発展に努められている。 現在は、郷ノ浦町漁協の代表理事組合長として、これまで培ってこられた漁協経営の知識を生かして、漁業者や職員の指導にあたられている。	
5	中立	中原 康壽	70	男	農業	昭和41年4月～昭和44年3月 長崎県立杵岐商業高等学校 昭和45年4月～平成16年2月 長崎県杵岐郡勝本町勤務 平成16年3月～平成23年3月 長崎県杵岐市勤務 平成24年5月～平成30年10月 長崎県杵岐市副市長 平成24年9月～平成30年11月 長崎県北部海区漁業調整委員	—	—	杵岐市漁業協同組合長会	大久保 照享	—	—	—	被推薦者は、地方行政の出身で、地域全般に亘り様々な知識を有し、地域の振興に貢献されている。平成24年9月から平成30年11月まで長崎県北部海区漁業調整委員として、公益の立場で参画され、豊富な経験を持ち合わせている。	
6	漁業者	大久保 照享	74	男	団体職員 (漁協長)	昭和36年4月～平成8年4月 漁業従事 平成8年5月～令和2年11月 組合理事就任 平成10年5月～平成19年11月 杵岐地区漁業士会会長就任 平成20年5月～令和2年11月 代表理事組合長就任 平成20年8月～令和2年11月 北部海区漁業調整委員就任 平成26年8月～令和2年11月 杵岐市漁業協同組合会長就任	35年	イカ釣り漁業 (平成8年まで)	杵岐市漁業協同組合長会	大久保 照享	—	—	—	被推薦者は、昭和36年から平成8年まで、イカ釣り漁業に従事し、平成8年5月から漁協の理事に就任、平成20年5月から代表理事組合長に就任され、漁業経営、漁協運営に尽力され、漁業の状況をよく把握されています。 また、平成20年8月から、県北部海区漁業調整委員に就任、平成26年8月から、杵岐市漁業協同組合会長に就任し、人望も厚く、優れた調整能力で活躍されている。	

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況

○長崎県北部海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者					推薦した者又は団体					性別	推薦又は応募理由	
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業			年齢
							就業歴	主な漁業種類						
7	漁業者	浦田 和男	71	男	漁業 (漁協長)	平成11年5月～ 漁業従事 平成17年7月～平成23年6月 杵岐東部漁業協同組合信用担当専務理事就任 平成23年7月～ 杵岐東部漁業協同組合代表理事組合長就任 平成25年4月～ 長崎県北部海区漁業調整委員就任	21年	一本釣り漁業	杵岐市漁業協同組合長会	大久保 照享	—	—	—	被推薦者は平成17年7月に杵岐東部漁業協同組合の信用担当専務理事に就任、平成23年7月に代表理事組合長に就任し、これまで培った漁業の経験と知識を活かし、代表理事として漁業振興や漁協経営の安定化、また、組合員の漁業経営に関する指導等、研鑽して職務を遂行している。 更に、長崎県北部海区漁業調整委員に就任され、委員としての識見を有している。
8	漁業者	大久保 照享	74	男	団体職員 (漁協長)	昭和36年4月～平成8年4月 漁業従事 平成8年5月～令和2年11月 組合理事就任 平成10年5月～平成19年11月 杵岐地区漁業士会会長就任 平成20年5月～令和2年11月 代表理事組合長就任 平成20年8月～令和2年11月 北部海区漁業調整委員就任 平成26年8月～令和2年11月 杵岐市漁業協同組合長会会長就任	35年	イカ釣り漁業 (平成8年まで)	勝本町漁業協同組合	大久保 照享	—	—	—	被推薦者は、30年余りイカ一本釣り漁業に従事し、漁業の状況をよく理解しています。 また、勝本町漁業協同組合では、平成8年から理事を経験し引き続き平成20年から現在に至るまで組合長に就き、組合員の信頼も厚くかつ指導力にも優れ、勝本地区を代表する人物と言えます。 平成20年8月から、県北部海区漁業調整委員に就任され、また、平成26年8月から、杵岐市漁業協同組合長会会長に就任し、優れた調整能力で活躍されています。 以上のことから、北部海区の漁業調整委員に推薦するものです。
9	漁業者	浦田 和男	71	男	漁業 (漁協長)	平成11年5月～ 漁業従事 平成17年7月～平成23年6月 杵岐東部漁業協同組合信用担当専務理事就任 平成23年7月～ 杵岐東部漁業協同組合代表理事組合長就任 平成25年4月～ 長崎県北部海区漁業調整委員就任	21年	一本釣り漁業	杵岐東部漁業協同組合	浦田 和男	—	—	—	被推薦者は平成17年7月に杵岐東部漁業協同組合の信用担当専務理事に就任、平成23年7月に代表理事組合長に就任し、これまで培った漁業の経験と知識を活かし、代表理事として漁業振興や漁協経営の安定化、また、組合員の漁業経営に関する指導等、研鑽して職務を遂行している。 更に、長崎県北部海区漁業調整委員に就任され、委員としての識見を有している。
10	漁業者	志水 正司	72	男	漁業 (漁協長)	昭和41年3月 長崎県立北松農業高等学校卒業 昭和41年4月～ 自営漁業 平成元年5月～平成17年12月 福島町漁業協同組合理事就任 平成3年5月～平成17年11月 福島町町議会議員当選 平成10年5月～平成17年11月 福島町漁業協同組合代表理事組合長就任 平成15年5月～平成17年12月 福島町町議会議員副議長就任 平成17年11月 伊万里湾4漁協合併により福島町漁業協同組合代表理事組合長就任 平成17年12月 1市2町合併により福島町町議会議員退任 平成17年12月 新松浦漁業協同組合理事就任 平成18年2月～平成26年2月 松浦市市議会議員当選 平成22年2月 松浦市市議会議員副議長就任 平成24年6月～ 新松浦漁業協同組合代表理事組合長就任 平成24年6月～平成30年6月 長崎県漁業協同組合連合会理事就任 平成26年2月 松浦市市議会議員退任 平成30年6月 長崎県漁業協同組合連合会理事就任 平成30年6月 長崎県信用漁業協同組合連合会理事就任	54年	船曳網漁業	新松浦漁業協同組合	志水 正司	—	—	—	●高卒後漁業に従事され、昭和50年代後半頃から海面埋立などで再開発が進むにつれクルマエビなど、底生生物の資源減少が続く中、小型底曳網漁から操業方法の異なる浮魚の片口ワシを漁獲対象に平成3年1月そう船曳網漁業へ漁種転換を図られた。卒業後、巾着網や底曳網への従事経験で会得された操業技術を駆使されると共に、先輩漁師から指導助言を得つつ、生来からの高い研究心と行動力、負けん気の強さを資源として、新たな漁法の活路を自ら開かれ、数年後には獲り頭の仲間入りされてきたこと。また2そう曳網漁業の新漁法導入に率先垂範されて定着化を図り、地域発展に貢献されたことから評価され、平成30年に全国漁港漁場協会から海の恵み部門で海の名人として認定証を受賞するなど、漁業経営者の模範となって活動されている。 ●平成17年12月の漁協合併、及び平成18年1月の市町合併前から引き続き漁協理事や町議・市議を歴任されるなど、地域からの厚い信頼を得られている。更に、漁協系統団体でも役員として就任され、長年の漁業経験を活かして系統団体や行政などとのパイプ役として大いに活躍されている。

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況  
 ○長崎県北部海区漁業調整委員会

番号	区分	氏名	年齢	性別	職業	推薦を受けた者又は応募した者		推薦した者又は団体					推薦又は応募理由		
						経歴		漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業		年齢	性別
						就業歴	主な漁業種類	就業歴	主な漁業種類						
11	学経	西 寛	78	男	漁業	昭和33年4月～ 漁業に従事 昭和51年8月～昭和53年6月 長崎県漁業協同組合連合会青年部委員 昭和57年6月～昭和63年6月 箱崎漁業協同組合理事 平成3年6月～ 箱崎漁業協同組合理事 平成17年4月～平成30年6月 箱崎漁業協同組合代表理事組合長 平成8年8月～平成20年7月 長崎県北部海区漁業調整委員 平成21年6月～平成26年5月 長崎県漁業協同組合連合会理事 平成21年6月～令和元年6月 長崎県漁業公社取締役 平成22年7月～平成27年6月 長崎県延縄協議会副会長 平成24年8月～ 長崎県北部海区漁業調整委員 平成26年6月～令和元年6月 長崎県漁業協同組合連合会副会長 平成27年7月～ 長崎県延縄協議会会長 平成24年3月 全国漁業協同組合連合会会長表彰（功労表彰） 平成24年6月 海上保安協会門地方本部長表彰（功績表彰） 平成24年11月 大日本水産会表彰（功績表彰） 平成26年6月 日本位置漁業協会表彰（功労表彰） 平成27年3月 自由民主党表彰（総裁安倍晋三） 平成27年11月 長崎県民表彰 令和2年4月 旭日双光章受章 平成20年9月 全国海区漁業調整委員会連合会会長表彰	62年	—	箱崎漁業協同組合	小楠 彰人	—	—	—	漁協長をはじめ、長崎県漁連の副会長、長崎県漁業公社取締役等多岐にわたる要職の経験があり、現在も長崎県延縄協議会の会長、長崎県北部海区漁業調整委員を在任されており、これまでの功績と漁業全般の豊富な知識を認め、学識経験委員として推薦する。	
12	漁業者	高平 真二	65	男	漁業（漁協長）	昭和45年3月 小佐々町立小佐々中学校 昭和45年3月～ 家業のまき網漁業従事 平成7年6月～平成24年7月 高漁水産（有）代表取締役 平成11年6月～平成17年11月 小佐々町漁業協同組合理事 平成15年5月～平成18年3月 小佐々町議会議員 平成17年12月～ 九十九島漁業協同組合理事就任（漁協合併） 平成24年6月～ 九十九島漁業協同組合代表理事組合長就任 平成24年7月～平成26年3月 小佐々町観光協会会長 平成24年8月～ 長崎県北部海区漁業調整委員 平成25年6月～平成27年6月 長崎県信用漁業協同組合連合会理事 平成27年6月～ 長崎県漁業協同組合連合会理事 平成30年6月～ 長崎県漁業協同組合連合会代表理事組合長	50年	中型まき網漁業	九十九島漁業協同組合	高平 真二	—	—	—	高平真二は豊富な漁業経験と独自の経営方針により状況が悪化した会社の代表に就任し地元漁業関係においてトップクラスの漁獲高と会社経営に導いた。その人望と手腕を買われ、30代で漁協理事に就任し、その後町議会議員に当選した。 漁協合併後の難しい状況下、旧漁協の壁を壊し九十九島漁業協同組合の一体化に努め現在は一つの漁協として役員がまとまり、その調整力は高く評価される。 この経験と実績で長崎県漁連の会長に就任し、難しい長崎県の漁業情勢の改善に取り組んでいる。また現職の海区漁業調整委員として活躍中である。 この様な事から海区漁業調整委員として十分なキャリアと指導力を有しており、委員として適任である。	
13	漁業者	吉浦 英男	66	男	魚類養殖業	昭和47年3月 長崎県立鹿町工業高校卒業 昭和47年4月～昭和49年3月 株式会社朝日化工 昭和49年4月～昭和50年3月 丸一水産有限会社（中型まき網漁業従事） 昭和50年4月～昭和53年4月 吉栄丸水産（中型まき網漁業従事） 昭和53年4月～平成3年12月 有限会社 川久保水産（魚類養殖販売業従事） 平成4年1月～ 魚類養殖業起業 平成9年6月～平成17年12月 鹿町町漁業協同組合監事 平成12年4月～平成18年3月 鹿町かん水業者会会長 平成17年12月～平成18年6月 九十九島漁業協同組合監事（漁協合併） 平成18年6月～ 九十九島漁業協同組合理事 平成29年9月～ 株式会社由香丸水産設立 代表取締役就任 令和2年4月～ 佐世保市鹿町町曾辺ヶ崎地区地区長	46年	魚類養殖業	九十九島漁業協同組合	高平 真二	—	—	—	吉浦英男は、魚類養殖業を自ら起業以後、事業拡大に伴い平成29年に法人化による事業の安定化と発展に努めている。 当人の行動力と発言力及び多方面に渡る経験を買われ旧鹿町町漁協監事として合併までの約9年間努め、合併漁協では理事に就任し以後組合長とともに漁協の一体化に努め、特に鹿町地区の漁業者のまとめ役として汗を流した。 また、養殖漁業者の部会長として漁場管理、赤潮発生時における養殖漁業者と地区漁業者の協力体制と対処法等の構築に尽力した。 現在も地域のリーダーとして活躍中であり、漁業調整委員として適任と考え推薦したい。	
14	学経	小楠 彰人	63	男	団体職員（漁協長）	昭和50年4月～ 箱崎漁業協同組合入組 平成15年7月～平成29年6月 箱崎漁業協同組合参事 平成18年6月～平成27年6月 箱崎漁業協同組合常勤理事 平成25年7月～平成27年12月 長崎県漁協専務参事会副会長 平成25年10月～平成27年9月 香岐地区漁協専務参事会会長 平成30年6月～ 箱崎漁業協同組合代表理事組合長 令和元年7月～ 長崎県漁業信用基金協合理事	—	—	箱崎漁業協同組合	小楠 彰人	—	—	—	漁協の参事・常勤理事として、長期にわたり漁協経営と漁業者の所得向上に尽力された。また、長崎県漁協専務参事会副会長等、要職の経験もあり、漁協・漁業関係の知識は豊富である。現在は漁協長として、漁協の経営はもとより、地域組織の相談役として、地域振興と地区内漁業の発展に更なる手腕を発揮されている。これまでの豊富な知識・経験・功績に基づき、学識経験委員として推薦する。	

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況  
 ○長崎県北部海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者					推薦した者又は団体					推薦又は応募理由		
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業		年齢	性別
							就業歴	主な漁業種類						
15	漁業者	溝口 悦雄	59	男	漁業 (漁協長)	昭和51年4月～昭和54年3月 長崎県立長崎水産高等学校 昭和54年4月～平成2年1月 有限会社溝口水産 平成2年1月～ エテルナ・ワコー株式会社 平成26年6月～令和2年6月 佐世保市相浦漁業協同組合理事 令和2年6月～ 佐世保市相浦漁業協同組合代表理事組合長	41年	まき網漁業	佐世保市相浦漁業協同組合	溝口 悦雄	-	-	-	被推薦者は、幼少の頃から漁業に親しみ、水産高校を卒業後兄弟と共にまき網漁業等を営み株式会社を設立し、多くの従業員を雇用し地域の水産業発展に貢献しております。又、佐世保市相浦漁業協同組合の理事となっており年となる、今年6月に代表理事組合長に就任いたしました。今までの会社経営・漁業経験に基に、漁協の運営、組合員個々の漁業経営に対しても対話をもって接し、幅広い視野を持ちながら対応できる事から推薦致します。
16	漁業者	浜辺 晃	62	男	漁業 (漁協長)	平成11年4月～平成17年10月 大島村村議会議員 平成12年10月～ 大島村漁業協同組合代表理事組合長 昭和51年4月～平成12年9月 養殖(ブリ、トラフグ)、一本釣り、小型まき網(乗船)	44年	魚類養殖業 一本釣り漁業 小型まき網漁業	大島村漁業協同組合	浜辺 晃	-	-	-	被推薦者は、昭和51年より漁業(一本釣り、養殖)経営、小型まき網に従事し、新しい漁法の開発、漁協青年部長を歴任するなど、組合員の模範となり漁村の発展等に寄与してきた。又、平成12年より当組合、組合長に就任し現在に至るが、この度、海区漁業調整委員の候補者推薦について、組合長としての役割上、資源管理、許可漁業、又、漁業権の問題にも精通しており、当組合長浜辺晃を令和2年11月25日の理事会に於いて、全員賛成により、推薦する次第であります。
17	漁業者	山中 兵恵	73	男	漁業 (漁協長)	昭和38年3月 平戸市立中部中学校卒業 昭和38年4月～昭和44年3月 大栄水産(株)勤務 昭和52年3月～昭和55年3月 獅子漁業協同組合自営置働務 昭和55年4月～ 漁船漁業経営者 昭和63年5月～平成12年3月 獅子漁業協同組合理事就任 平成12年4月～ 平戸市漁業協同組合理事就任 平成23年6月～ 平戸市漁業協同組合代表理事組合長就任 平成24年6月～平成30年5月 長崎県信漁連理事就任 平成24年8月～ 長崎県北部海区漁業調整委員会委員就任 平成28年8月～ 長崎県北部海区漁業調整委員会会長就任 平成30年6月～ 長崎県漁業協同組合連合会理事就任	40年	かご漁業 イ力釣り漁業 一本釣り漁業 曳網漁業	県北漁業協同組合会長	片岡 一雄	-	-	-	被推薦者は、昭和55年に漁船漁業に着業以降、平成12年に平戸市漁協理事に就任、平成24年に代表理事組合長に就任し、漁協運営や資源管理及び漁業経営の改善・漁業振興等に取り組まれています。 平成24年8月には県北北部海区漁業調整委員会委員に就任し、漁民委員として海区内における漁業に関する事項について、その職務を適切に行い、平成28年には同委員会の会長に就任し、他海区との漁業調整にも臨まれています。 以上のことから、海区漁業調整委員に適任であるとし、本組合長より推薦致します。
18	漁業者	片岡 一	40	男	漁業	平成15年3月 帝京大学卒業 平成15年4月～平成20年12月 (株)アドバンス 平成21年1月～令和元年6月 (有)豊良産業にて養殖漁業従事 平成24年1月～ 小型まき網漁業従事 平成28年12月～平成30年7月 小型まき網漁業共同経営 平成25年6月～ 佐世保市漁業協同組合理事 令和元年7月～ (有)豊良産業代表取締役	11年	養殖漁業 小型まき網漁業	県北漁業協同組合会長	片岡 一雄	-	-	-	被推薦者は、養殖漁業を営む漁業者で、小型まき網漁業にも従事しています。平成25年からは、佐世保市漁業協同組合の理事として、漁業経営の健全化に務めており、佐世保市栽培漁業推進協議会の会員として栽培漁業にも積極的に取り組み、小型まき網漁業の資源管理計画にも参画しています。 今後、更に重要性の増す資源管理型漁業については、地域水産業発展のため、指導力とその活躍が期待されることから、海区漁業調整委員に適任であるとし、当組合長より推薦致します。
19	漁業者	志水 正司	72	男	漁業 (漁協長)	昭和41年3月 長崎県立北松農業高等学校卒業 昭和41年4月～ 自営漁業 平成元年5月～平成17年12月 福島町漁業協同組合理事就任 平成3年5月～平成17年11月 福島町議会議員当選 平成10年5月～平成17年11月 福島町漁業協同組合代表理事組合長就任 平成15年5月～平成17年12月 福島町議会議員副議長就任 平成17年11月 伊万里湾4漁協合併により福島町漁業協同組合代表理事組合長退任 平成17年12月 1市2町合併により福島町議会議員退任 平成17年12月 新松浦漁業協同組合理事就任 平成18年2月～平成26年2月 松浦市市議会議員当選 平成22年2月 松浦市市議会議員副議長就任 平成24年6月～ 新松浦漁業協同組合代表理事組合長就任 平成24年6月～平成30年6月 長崎県漁業協同組合連合会理事就任 平成26年2月 松浦市市議会議員退任 平成30年6月 長崎県信用漁業協同組合連合会理事就任	54年	船曳網漁業	県北漁業協同組合会長	片岡 一雄	-	-	-	被推薦者は高校卒業後、漁業に従事し、昭和50年台後半頃から海面埋立など再開により底生生物の資源減少が続く中、平成3年に小型底曳網漁業から1そう船曳網漁業への漁種転換を図り、漁業経営の安定化を目指し研究・活動されたことで、実績を示し、その経営力に周囲から高い評価を得られました。 また2そう曳網漁業の新漁法導入に率先垂範されて定着化を図り、地域発展に貢献され、漁業経営者の模範となつて活動されています。 平成17年の漁協合併、及び平成18年の市町合併後も引き続き漁協理事や町議・市議を歴任し、平成24年に代表理事組合長に就任、長年の漁業経験を活かして活躍しています。 以上のことから、海区漁業調整委員に適任であるとし、当組合長より推薦致します。

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況  
 ○長崎県北部海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者										推薦した者又は団体					推薦又は応募理由
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業	年齢	性別				
							就業歴	主な漁業種類									
20	漁業者	高平 真二	65	男	漁業 (漁協長)	昭和45年3月 小佐々町立小佐々中学校 昭和45年3月～ 家業のまき網漁業従事 平成7年6月～平成24年7月 高漁水産(有) 代表取締役 平成11年6月～平成17年11月 小佐々町漁業協同組合理事 平成15年5月～平成18年3月 小佐々町議会議員 平成17年12月～ 九十九島漁業協同組合理事就任(漁協合併) 平成24年6月～ 九十九島漁業協同組合代表理事組合長就任 平成24年7月～平成26年3月 小佐々町観光協会会長 平成24年8月～ 長崎県北部海区漁業調整委員 平成25年6月～平成27年6月 長崎県信用漁業協同組合連合会理事 平成27年6月～ 長崎県漁業協同組合連合会理事 平成30年6月～ 長崎県漁業協同組合連合会代表理事会長	50年	中型まき網漁業	県北漁業協同組合長会	片岡 一雄	—	—	—	被推薦者は、豊富な漁業経験と独自の経営方針により、状況が悪化した会社の代表に就任し地元漁業関係においてトップクラスの漁獲高と会社経営に導きました。その人望と手腕を買われ、30代で漁協理事に就任し、その後、町議会議員に当選。 漁協合併後の難しい状況下、旧漁協の壁を壊し九十九島漁業協同組合の一体化に努め現在は一つの漁協として役職員がまとまり、その調整力は高く評価されています。 この経験と実績で長崎県漁連の会長に就任し、難しい長崎県の漁業情勢の改善に取り組んでおり、現職の海区漁業調整委員としても活躍中です。 以上のことから、海区漁業調整委員に適任であるとし、当組合長会より推薦致します。			
21	漁業者	吉浦 英男	66	男	魚類養殖業	昭和47年3月 長崎県立鹿町工業高校卒業 昭和47年4月～昭和49年3月 株式会社朝日化工 昭和49年4月～昭和50年3月 丸一水産有限会社(中型まき網漁業従事) 昭和50年4月～昭和53年4月 吉栄丸水産(中型まき網漁業従事) 昭和53年4月～平成3年12月 有限会社 川久保水産(魚類養殖販売業従事) 平成4年1月～ 魚類養殖業起業 平成9年6月～平成17年12月 鹿町町漁業協同組合監事 平成12年4月～平成18年3月 鹿町かん水業者会会長 平成17年12月～平成18年6月 九十九島漁業協同組合監事(漁協合併) 平成18年6月～ 九十九島漁業協同組合理事 平成29年9月～ 株式会社由香丸水産設立 代表取締役就任 令和2年4月～ 佐世保市鹿町町曾辺ヶ崎地区地区長	46年	魚類養殖業	県北漁業協同組合長会	片岡 一雄	—	—	—	被推薦者は、魚類養殖業を自ら起業し、以後、事業拡大に伴い平成29年に法人化し事業の安定と発展に努めています。 当人の行動力と発言力及び多方面に渡る経験を買われ旧鹿町町漁協監事として合併までの約9年間努め、合併漁協では理事に就任し以後組合長とともに漁協の一体化に努めてきました。 また、養殖漁業者の部会長として漁場管理、赤潮発生時における養殖漁業者と地区漁業者の協力体制と対処法等の構築に尽力しており、現在は地域のリーダーとして活躍中です。 以上のことから海区漁業調整委員に適任であるとし、当組合長会より推薦致します。			
22	漁業者	溝口 悦雄	59	男	漁業 (漁協長)	昭和51年4月～昭和54年3月 長崎県立長崎水産高等学校 昭和54年4月～平成2年1月 有限会社溝口水産 平成2年1月～ エテルナ・ワコー株式会社 平成26年6月～令和2年6月 佐世保市相浦漁業協同組合理事 令和2年6月～ 佐世保市相浦漁業協同組合代表理事組合長	41年	まき網漁業	県北漁業協同組合長会	片岡 一雄	—	—	—	被推薦者は、幼少の頃から漁業に親しみ、水産高校を卒業後兄弟と共にまき網漁業等を営み株式会社を設立し、多くの従業員を雇用し地域の水産業発展に貢献しております。又、佐世保市相浦漁業協同組合の理事となっており平成26年、今年6月に代表理事組合長に就任いたしました。今までの会社経営・漁業経験に基に、漁協の運営、組合員個々の漁業経営に対しても対話をもって接し、幅広い視野を持ちながら対応できる事から、海区漁業調整委員に適任であるとし、当組合長会より推薦致します。			
23	学経	後藤 正喜	63	男	団体職員 (漁協長)	昭和50年3月 長崎県立平戸高校卒業 昭和51年3月 全国漁業協同組合学校卒業 平成18年2月～平成20年9月 志々伎漁業協同組合会計主任 平成20年10月～平成25年5月 志々伎漁業協同組合参事 平成25年6月～ 志々伎漁業協同組合代表理事組合長 平成25年6月～ 平戸魚市場株式会社取締役 平成28年6月～ 佐世保魚市場株式会社取締役 平成27年5月～平成29年3月 長崎県漁船保険組合理事 平成29年4月～ 日本漁船保険組合長崎県支所運営委員 令和元年7月～ 全国共済水産業協同組合連合会長崎県事務所運営委員 平成25年6月～ 県北地域栽培漁業推進協議会会長 平成28年9月～ 長崎県北部海区漁業調整委員	—	—	県北漁業協同組合長会	片岡 一雄	—	—	—	被推薦者は、志々伎漁協の組合長に就任した平成25年当時、3年間の赤字経営の中に、経営改善を積極的に実行し、あらゆる角度から効率化を図り、1年で黒字経営に立て直し、漁協健全の礎を築き現在に至っています。 また、平成5年に志々伎漁協青色申告会設立。平成14年より組合員150名の確定申告、税務事務、組合員の漁家経営の指導を行い、年2回の税務説明会を実施し、この際に漁協経営状況、今後の方向性を具体的に説明し、漁協経営への協力体制の確立に全力で取り組んでいます。 平成25年からは県北地域栽培漁業推進協議会の会長を務め、資源管理、栽培漁業にも積極的に取り組み、平成28年からは、県北海区漁業調整委員に就任し、学識経験委員として、海区内における漁業に関する事項について、その職務を適切に行われていることから、海区漁業調整委員に適任であるとし、当組合長会より推薦致します。			

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況  
 ○長崎県北部海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者					推薦した者又は団体					推薦又は応募理由		
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業		年齢	性別
							就業歴	主な漁業種類						
24	学経	豊増 見喜雄	76	男	団体職員 (漁協長)	昭和38年3月 長崎県立猪興館高等学校卒業 昭和40年3月 中野高等無線学校卒業 平成10年6月～平成12年6月 生月漁協常務理事 平成15年6月～平成18年5月 生月漁協理事 平成18年6月～平成20年5月 生月漁協常務理事 平成20年6月～ 生月漁協代表理事組合長 平成28年9月～ 長崎県北部海区漁業調整委員	—	—	県北漁業協同組合長会	片岡 一雄	—	—	—	被推薦者は、平成10年6月より生月漁協の理事に就任(平成12年6月より3年間除く)。常務理事6年間就任。平成20年6月より代表理事組合長に就任し、燃油高騰対策、漁業調整、特に定置漁業については、大型定置2ヶ統、小型定置3ヶ統の資源管理計画における休漁日の設定、漁業共済の積立プラス補償の加入促進、令和元年度からはクロマグロを対象とした強度資源管理の取り組みを行い定置漁業の安定した経営を図られています。また海区漁業調整委員については、平成28年9月より現在までの間、学識経験委員として漁業を取り巻く重要な課題に積極的に取り組み、地域水産業の発展の為に尽力された功績は大であり委員としての資格、素養は十分に有していると考えられることから、海区漁業調整委員に適任であるとし、当組合長より推薦致します。
25	中立	田添 伸	64	男	水産関係 団体役員	昭和53年3月 東京水産大学(現:東京海洋大学)海洋環境工学科卒業 昭和54年4月～ 長崎県庁入庁(水産技術委員) 平成10年4月～平成13年3月 県北振興局水産課長 平成13年4月～平成16年3月 総合水産試験場企画開発推進室長 平成16年4月～平成19年3月 水産部漁政課総括課長補佐(1年)、企画調整班参事(2年) 平成19年4月～平成23年3月 水産部漁業取締室長(1年)、資源管理課長(1年)、水産振興課長(1年) 平成23年4月～平成25年3月 総合水産試験場長 平成25年4月～平成28年3月 水産部次長(1年)、政策監(2年) 平成28年3月 長崎県庁退職 平成28年5月～平成30年5月 (一社)長崎魚市場協会専務理事 平成28年9月～ 長崎県北部海区漁業調整委員 平成30年6月～令和2年6月 (一社)水産土木建設技術センター常務理事兼長崎支所長 令和2年7月～ (一社)長崎県漁場整備開発協会専務理事	—	—	県北漁業協同組合長会	片岡 一雄	—	—	—	長崎県庁在職中は、総合水産試験場長、水産部次長、政策監などの要職を歴任し、本県水産業の振興発展に多大な貢献をした。 また、平成28年9月から第21期県北海区漁業調整委員会委員に就任し、公益代表委員として、県北海区の漁業及び漁業者のことをよく理解し、誠実に漁業と他の一般公益の調整を図ることに尽力した。なお、漁業調整委員会の所掌に属する事項に関し、利害関係を有しないことを確認している。
26	中立	萬屋 隆則	70	男	会社員	昭和44年3月 長崎県立佐世保工業高等学校土木科卒業 昭和48年4月 佐世保市役所入庁 昭和58年8月～平成3年12月 佐世保市経済部水産課勤務 平成19年4月～平成21年3月 佐世保市港湾部みなと整備課次長 平成21年4月～平成22年3月 佐世保市土木課道路建設課次長 平成22年4月～平成23年3月 佐世保市土木部長 平成23年3月 佐世保市役所退職 平成23年4月～ 復建調査設計株式会社佐世保事務所所長	—	—	県北漁業協同組合長会	片岡 一雄	—	—	—	佐世保市役所在職中は、港湾部みなと整備課次長、土木部部長などの要職を歴任し、佐世保市の振興発展に多大な貢献をした。 また、佐世保市水産課、みなと整備課などの勤務経験があり、漁業及び漁業者のことをよく理解しており、中立の立場で漁業と他の一般公益の調整を図ることが期待される。なお、漁業調整委員会の所掌に属する事項に関し、利害関係を有しないことを確認している。
27	漁業者	山中 兵恵	73	男	漁業 (漁協長)	昭和38年3月 平戸市立中部中学校卒業 昭和38年4月～昭和44年3月 大栄水産(株)勤務 昭和52年3月～昭和55年3月 獅子漁業協同組合自営定置勤務 昭和55年4月～ 漁船漁業経営兼業 昭和63年5月～平成12年3月 獅子漁業協同組合理事就任 平成12年4月～ 平戸市漁業協同組合理事就任 平成23年6月～ 平戸市漁業協同組合代表理事組合長就任 平成24年6月～平成30年5月 長崎県信漁連理事就任 平成24年8月～ 長崎県北部海区漁業調整委員会委員就任 平成28年8月～ 長崎県北部海区漁業調整委員会会長就任 平成30年6月～ 長崎県漁業協同組合連合会理事就任	40年	かご漁業 イカリ釣り漁業 一本釣り漁業 曳網漁業	平戸市漁業協同組合	山中 兵恵	—	—	—	資源管理及び漁業経営の改善等、又漁業振興及び漁場利用に関する紛争防止の解決など漁業調整に関する実績が多であり、令和2年11月10日、平戸市漁協理事会に於いて、理事全員による推薦となった。
28	漁業者	片岡 一	40	男	漁業	平成15年3月 帝京大学卒業 平成15年4月～平成20年12月 (株)アドバンス 平成21年1月～令和元年6月 (有)豊良産業にて養殖漁業従事 平成24年1月～ 小型まき網漁業従事 平成28年12月～平成30年7月 小型まき網漁業共同経営 平成25年6月～ 佐世保市漁業協同組合理事 令和元年7月～ (有)豊良産業代表取締役	11年	養殖漁業 小型まき網漁業	佐世保市漁業協同組合	片岡 一雄	—	—	—	被推薦者は、養殖漁業を営む漁業者で、小型まき網漁業にも従事しています。平成25年からは、佐世保市漁業協同組合の理事として、漁業経営の健全化に務めており、佐世保市栽培漁業推進協議会の会員として栽培漁業にも積極的に取り組み、小型まき網漁業の資源管理計画にも参画しています。 今後、更に重要性の増す資源管理型漁業については、地域水産業発展のため、指導力とその活躍が期待されることから海区漁業調整委員に推薦します。

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況

○長崎県北部海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者					推薦した者又は団体					推薦又は応募理由		
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業		年齢	性別
							就業歴	主な漁業種類						
29	学経	後藤 正喜	63	男	団体職員 (漁協長)	昭和50年3月 長崎県立平戸高校卒業 昭和51年3月 全国漁業協同組合学校卒業 平成18年2月～平成20年9月 志々伎漁業協同組合会計主任 平成20年10月～平成25年5月 志々伎漁業協同組合参事 平成25年6月～ 志々伎漁業協同組合代表理事組合長 平成25年6月～ 平戸魚市株式会社取締役 平成28年6月～ 佐世保魚市場株式会社取締役 平成27年5月～平成29年3月 長崎県漁船保険組合理事 平成29年4月～ 日本漁船保険組合長崎県支所運営委員 令和元年7月～ 全国共済水産業協同組合連合会会長崎県事務所運営委員 平成25年6月～ 県北地域栽培漁業推進協議会会長 平成28年9月～ 長崎県北部海区漁業調整委員	—	—	志々伎漁業協同組合	後藤 正喜	—	—	—	組合長に就任した平成25年当時は、3年間の赤字経営の中に、経営改善を積極的に実行し、施設利用の見直し、当直者廃止、手数料の一部引上げ、増員計画、事務処理の効率化を図り、1年で黒字経営に立て直し、漁協健全の礎を築き現在に至っている。 平成5年志々伎漁協青色申告会設立。平成14年より組合員150名の確定申告、税務事務、組合員の漁家経営の指導を行う。また、年2回の税務説明会を実施し、この際に漁協経営状況、今後の方向性を具体的に説明し、漁協経営への協力体制の確立に全力で取り組んでいる。 以上の理由で推薦いたします。
30	学経	豊増 見喜雄	76	男	団体職員 (漁協長)	昭和38年3月 長崎県立猪飼館高等学校卒業 昭和40年3月 中野高等無線学校卒業 平成10年6月～平成12年6月 生月漁協常務理事 平成15年6月～平成18年5月 生月漁協理事 平成18年6月～平成20年5月 生月漁協常務理事 平成20年6月～ 生月漁協代表理事組合長 平成28年9月～ 長崎県北部海区漁業調整委員	—	—	生月漁業協同組合	豊増 見喜雄	—	—	—	平成10年6月より生月漁協の理事に就任(平成12年6月より3年間除く)。常務理事6年間就任。平成20年6月より代表理事組合長に就任され、燃油高騰対策、漁業調整、特に定置漁業については、大型定置2ヶ統、小型定置3ヶ統の資源管理計画における休漁日の設定、漁業共済の積立プラス補償の加入促進、令和元年度からはクロマクロを対象とした強度資源管理の取組みを行い定置漁業の安定した経営を図り、また海区漁業調整委員についても、平成28年9月より現在までの間漁業を取り巻く重要な課題に積極的に取り組み地域水産業の発展の為に尽力された功績は大であり委員としての資格、素養は十分に有しており謹んでご推薦するものであります。